

風の輪

風の輪 第7号

社会福祉法人 水仙福祉会
〒533 大阪市東淀川区小松1丁目13-20
☎06-328-4019 Fax06-325-9710

題字 岡村 重夫



風の子保育園の育児教室

展望 家庭に目を向ける福祉の方向

松村 寛

いま日本の社会福祉制度の構造的改革がすすめられていますが、同時に社会福祉施設の情報公開と共に地域に開かれた施設への体質改善を迫られています。今回は、このような福祉改革の背景と、そのねらい、そしてわれわれ水仙福祉会とのかかわりなどについて述べます。

今、施設に求められるもの

これまで社会福祉施設は、ともすれば入所者のみの対応にしか目を向けず、専門性の殻に閉じこもり、地域の関係する社会的ニーズに気を配ることを怠ってきたきらいがありました。

しかし、社会福祉施設の対象者を家庭や家族から切り離

しケアするだけでは、家族間のきずなを失い、家庭崩壊を助長するのではないかと、指摘されることもありまし

た。高齢化と少子化の時代を迎え、家庭基盤が一層あやうくなっている時だけに、家族が平安に暮らしていけるよう家庭を支える活動が必要なこととは当然の帰結でしょう。

在宅支援のスタート

「単独型」：標準型に加え、既存の建物や貸事務所を活用する。

「基幹型」：一定区域内の在宅介護支援センターを統括するもの。

より開かれた施設へ

当法人の淡路こども園では、平成十年度より「障害児地域療育センター」として、活動することになりました

やっと厚生省もこのことに気づいたのでしょうか、福祉施設の家庭支援力を入れ始めました。心身の障害児者施設では「障害児者地域療育センター」を、保育所では「地域子育て支援センター」を、養護施設や母子寮等では「児童家庭支援センター」を、地域を区分し重点設置されるこ



姫島風の家(グループホーム)でのコマ

が、実際にはこの活動内容の殆どは、昭和五十三年淡路こども園発足の事業方針に近い、多くはすでに実践していることでもあります。また風の子保育園や風の子そだち園も、工夫をこらして地域に対する様々な活動を行ってきました。その意味では、これまでの苦労に光が当てられてきたという思いです。

しかし、これから福祉施設全体が地域への家庭支援に目を向けようとする時代だけに、法人内職員もより一層研鑽に努め、法から漏れた谷間のニーズを発見するなど意図的、積極的に視野を広げた活動を展開していかねばならないと思います。

(水仙福祉会常務理事)